

熱田小児科クリニック 掲示板

8月のテーマ 『夏風邪』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

典型的な症状は…のどの痛み(赤くなる) 発熱 発疹 下痢 腹痛など様々です。

咽頭結膜熱 (プール熱)

特徴は…プールでの感染が多く見られることから、プール熱とも言われていますが、原因であるアデノウイルス自体には季節性がなく、最近では夏季に限らず流行の見られることがあります。

ヘルパンギーナ

特徴は…発熱と口の中の水疱が特徴の小児ウイルス性咽頭炎で、夏風邪の代表的疾患です。

手足口病

特徴は…病名の通り、手、足、口に水泡ができる感染症で、大部分のみの軽い症状です。4歳くらいまでの幼児に多い感染症ですが、感染力が強く、学童でも流行することがあります。



☆注意すること☆

- ほとんどは1週間で回復しますが、まれに髄膜炎、脳症などの重い合併症を起こすことがあります。発熱が長引いたり、頭痛や嘔吐などが続く時にはすぐ受診しましょう。
- 髄膜炎とは…風邪のウイルスや細菌が髄膜(脳や脊髄を被っている膜)に感染し、炎症を起こす。高熱や激しい頭痛、けいれんなどの症状が出ると言われている。

看護のポイント

〈発熱しているとき〉

- 寒気があり、手足が冷たい場合は体を暖めます。掛け物など寝具で調節し

ましょう。

- ・寒気がなく、手足が温かい場合は体を拭いたりして、体温降下を。

脱水傾向になるので、十分水分をとりましょう。

〈脱水症状に気を付けて〉

- ・水分は、欲しがらなくても少しずつこまめに与えましょう。

〈食欲がないとき〉

- ・口の中が痛いときは、刺激にならないよううす味ののどごしが良い物を食べさせましょう。

〈入浴は？〉

- ・熱があっても 38℃以下で元気があれば、シャワー程度か長湯をしなければかまいません。

〈家族も予防を〉

- ・手洗いとうがいをきちんとしましょう。

薬の服用について

Q 症状が軽くなったら薬をやめていい？

A 症状がよくなったと思っても完全に治ったとは限りません。自分勝手な判断をせず、医師の指示通りに服用してください。

Q 同じ症状だったら、前に処方された薬をまた使ってもいい？

A 症状が似ていたとしても同じ病気とは限りません。また、薬の使用期限が切れているかもしれません。その都度、処方された薬を飲ませてください。

Q 上の子のかぜがうつったみたい。上の子の薬を下の子に飲ませてもいい？

A 薬の種類や量は診察したこの状態に合わせて処方しています。体重によって薬の量は異なりますし、兄弟でも体質によって合う薬が異なる場合があります。同じ症状に見えても、薬の使い回しはしないで、医師の診察を受けて、その子に合った薬を処方してもらいましょう。

Q 薬を上手に飲ませるには？

A 飲み物や食べ物に混ぜて飲ませる方法もあります。
医師や薬剤師にご相談ください。